

①学習課題（小学校2年生）



【国語】

<内容>

◆「ふきのとう(P15)」に取り組みます。

- ① P15に出てくる登場人物がしたことや言ったことを確認します。
- ② 「 」(かぎ)の文の読み方を工夫して、考えたことを取組シートに書きます。
- ③ 考えた読み方の工夫を生かして、音読をします。

◆「ふきのとう」P16～P17もP15①～③と同じように取り組みます。

◆「ふきのとう」で学習する予定の新出漢字を取組シートに練習します。(読み方や書き順などは、P150に掲載されています。)

<保護者による関わり方のポイント>

- ・P15に出てくる登場人物（お話の中で人のように動いたり考えたりする生き物やものも含む）の確認が終わっていなければ、「だれが出てくるかな。」と、お子さんに質問し、登場人物の確認をしてから、したことや言ったことを確認します。
- ・登場人物がしたことを実際に動作でやってみる学習方法も考えられます。お子さんが文章を基に登場人物になりきって読む姿を大いに褒めてあげてください。
- ・文章中には、「ささやいて」「ふんばって」など、お子さんによっては、普段の話し言葉では使わない語彙も含まれているかもしれません。どのような意味をもつかお子さんに尋ね、分からないようであれば教えてあげてください。読み方の工夫を考えるきっかけにつながります。

【算数】

<内容> 2年生

①表とグラフ（教科書P10～12）

- (1) 教科書10ページの黒板に貼られた野菜の「種類」と「数」を調べてみよう。
- (2) 野菜の「種類」や「数」を調べた方法をおうちの人に話してみよう。
- (3) 教科書12ページの表に野菜の「数」を書き込もう。
- (4) 表やグラフを見て気付いたことを取組シートに書いて、おうちの人にも教えよう。
- (5) 教科書132ページの問題を解いてみよう。

<保護者による関わり方のポイント>

①表とグラフ（教科書P10～12）

- (1) (2) → バラバラに貼られている野菜カードを「どうしたら、間違いなく数えられるのかな」と問いかけたり、数えるときに工夫している様子が見られたときに褒めたりするなど、結果だけではなく調べるときの関わりが大切です。
- (4) → 子どもが、様々な観点から気付いたことを受け止めてあげることが大切になります。算数に関わることを話したときには、褒めてほしいと思います。
- (5) → 132ページのステップアップ算数に、同様の問題が掲載されているため、10ページから12ページで取り組んだことをこの問題を通して、確認してもよいです。